

木造農業ビニールハウス紹介

G-NEXUS FRAME

☆ 農業ビニールハウスは雪国で農業の普及を目指し開発。

雪国では、年間通して作物を生産することは、夢で不可能と思われてきた。冬季間も栽培が可能であれば、働きたい若者は多くいる。冬季間も農業ができることで若者の定住、地域の活性化に期待ができる。

☆ 農業ハウスの採算性作物とは？

- ・ハウス栽培は限られた範囲で多くの作物を収穫することが大事である。
- ・ハウス栽培に適した作物として、たとえばイチゴがある。冬季間のイチゴ栽培は、ハウス内の気温が低くても根元が冷えなければ栽培は可能です。
- ・葉菜も雪国で暖房なしで栽培できる。適した作物は、農業の専門家に相談にのって頂ける。

木造農業ビニールハウスのメリット

- ・木材は熱伝導率が少ないため冬は冷気、夏は暖気を伝えない、そのため特に冬の暖房費が少なくてすむ、
- ・雪に強い構造の鉄骨造より工費が少なく、
- ・小さな木材の構造でも大スパンを建てることが可能、
- ※ 但し G-NEXUS FRAME にも限界があり積雪の量に応じて建て方の検討が必要
- ・各種用途に応じて強度の違う種類、基礎の有無等で工費も違ってくるので要相談のこと、

木造農業ビニールハウスの支援

- ・近頃農業が注目され、今までと違い生産者が価格を決める時代になり国や異分野の企業も農業に目を向けこれからは大きく伸びる分野である。年間通して農業ができる環境を整え、作業性、採算性の取れる農業を目指す必要がある。
- ・冬季間の積雪は農業にマイナス、これを冬季間の積雪は農業にプラス、発想を大きく変えて木造農業ビニールハウスがあれば、雪の下の地面の暖かさを利用し冬季間の農業に従事し収入を得られる、他の地域よりも暖房費用がかからない。(雪も利用し柔らかく甘い作物の栽培が可能)

信州大学工学部、SASTec 内 長野 HYBRID 支援プロジェクトを結成 このプロジェクトは、八十二銀行、よろず支援、信州大学工学部、北誠商事が雪に強い木造農業ビニールハウスを多くの方にご利用頂きたい、そんな思いから結成されたものである。ハウスの建築には長野県より一般的ハウスと同様に規模により費用の一部が支給される。(個人は対象外で3軒以上の共同のみ) ハウスは銀行のリースも利用できる(基礎なし)

飯綱でイチゴ年間栽培

飯綱町は本年度、信州大学工学部(長野市)と連携し、「イチゴ」を一年中収穫できる「周年栽培」の研究を始めた。冬は農産物の収穫がない町で、年間を通じた農家の安定収入につながる狙い。町内に研究用ビニールハウスが完成し、栽培を開始。年4回の収穫を目指し、収量などを調べる。



ハウスの完成式で、イチゴの苗を植える飯綱町や信州大の関係者たち

町が信大と 研究を開始

農家安定収入狙い

同学部の大井美知男特任教授が開発した夏秋イチゴの品種「信大Anjou-G」を採用。大井特任教授によると、1年半ごとに株の植え替えが必要だが、年間を通して収穫ができる。糖度が高く、味が濃いという。町は2016年、冬季も収穫できる農産物を研究してほしいと信大側に打診。信大側からはこの品種を勧められ、研究への協力も得た。

完成式で、幸村勝盛町長は「信大と町が連携し研究を

北信ローカル

2018年(平成30年)2月23日(金曜日)

(北信州) (2)



実際に建設された農業用ハウス

飯山市の北誠商事が開発/低価格 木製農業用ハウス

全国的に注目

住宅建築の北信商事(高松市)が、飯山市の北誠商事(飯山市)と連携し、木製農業用ハウスの開発を進めている。同社は、飯山市内を中心に、全国的に注目されている。同社は、飯山市内を中心に、全国的に注目されている。

飯山市の北誠商事が開発/低価格 木製農業用ハウス 全国的に注目 飯山市の北誠商事が開発/低価格 木製農業用ハウス 全国的に注目

進めて地域の活性化につなげたい」とあいさつ。町産業観 光課は、栽培が順調ならば、雪地帯へのような結果にな